

# 授業科目 身体障害作業療法評価学実習 II

【担当教員名】 鈴木 誠、泉 良太		対象学年	2	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 身体障害領域における作業療法評価の基本的な知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 作業療法の対象となる人や障害に関心を持つことができる。</li> <li>2 一般的な礼節を身につける。</li> <li>3 各検査の意義と方法について説明できる。</li> <li>4 評価基準に基づき各評価を適切に実施することができる。</li> <li>5 必要とされる検査の結果および情報を統合解釈し、病態を的確に把握することができる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	関節可動域検査方法と結果解釈			1～5	講義, 演習 (泉)
2	関節可動域検査方法と結果解釈			1～5	講義, 演習 (泉)
3	徒手筋力検査方法と結果解釈			1～5	講義, 演習 (泉)
4	徒手筋力検査方法と結果解釈			1～5	講義, 演習 (泉)
5	徒手筋力検査方法と結果解釈			1～5	講義, 演習 (泉)
6	徒手筋力検査方法と結果解釈			1～5	講義, 演習 (泉)
7	運動麻痺検査方法と結果解釈			1～5	講義, 演習 (鈴木)
8	運動失調検査方法と結果解釈			1～5	講義, 演習 (鈴木)
9	筋緊張・振戦検査方法と結果解釈			1～5	講義, 演習 (鈴木)
10	自覚的運動強度と結果解釈			1～5	講義, 演習 (鈴木)
11	疾患別評価			1～5	演習 (鈴木・泉)
12	疾患別評価			1～5	演習 (鈴木・泉)
13	疾患別評価			1～5	演習 (鈴木・泉)
14	疾患別評価			1～5	演習 (鈴木・泉)
15	まとめ			1～5	講義, 演習 (鈴木・泉)
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		作業療法評価学 第2版	岩崎テル子 他	医学書院	2011・6,090円
		新・徒手筋力検査法	Helen J. Hislop 他	協同医書出版社	2008・7,500円
参考書		ベッドサイドの神経の診かた	田崎義昭 他	南山堂	2004・7,200円
		神経局在診断	Peter Duus	文光堂	1999・9,000円
		分担解剖学	森於菟 他	金原出版	1982・9,300円
その他の資料					
【評価方法】 実技試験 期末試験		【履修上の留意点】 受講にあたり、骨・筋・神経系を中心とした解剖生理学的知識が要求される。 Tシャツ・短パンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること。			